

---

## 災害時初期対応の基本コンセプト

(田邊晴山、大友康裕・編 エマージェンシー・ケア2010新春増刊 p.30-39)

2012年7月20日、災害医学抄読会 <http://plaza.umin.ac.jp/~GHDNet/circle/>

---

### はじめに

DMATが災害時に現場活動するうえで必要な普遍的な心得と注意点として、MIMMSの中に大規模災害発生時の体系的な対応を7つの基本原則として「CSCATTT」がある。

### C : Command and Control / 指揮命令系統・連絡調整・連携

Commandとは階級制度を基本として指揮命令系統を明確にし、行う縦の連携のこと。

Controlとは各関係機関がばらばらに活動することなく、互いに情報を共有し、個々の役割分担を明確化することで現場の有機的活動を効率的にする横の関係のこと。

### S : Safety / 安全確保

災害現場にある様々な危険を3つの側面(3S)に分けて考える。

1) Self : 自身

頭部を守るヘルメット、安全靴、長袖、膝当て、肘当てなど、防護機能を有する個人防護具(PPE)を着用する。

2) Scene : 現場

頭上から落下する破片、地面から突き出す鋭利な金属片、漏電、傷病者からの血液暴露、道路を走る車との衝突、爆発物・火・有毒ガスとの接触の可能性などから自分自身で判断し自らを守る必要がある。

3) Survivor : 被災者・患者

患者救助の際に患者さんの安全を考慮する必要がある。

### C : Communication / 情報伝達・共有

情報不足、確認不足、協力不足といったことが情報伝達失敗の原因となる。情報交換の方法としては、対面での伝達以外にトランシーバーなどの無線、メガホンや伝令が用いられる。また、たいへん有用なツールとして、広域災害救急医療情報システム(EMIS)がある。

### A : Assessment / 評価

災害現場の状況をいち早く把握し、医療チームとして何を優先的に実施すべきかを決めていく必要がある。

### 3 Ts : Triage・Treatment・Transport / トリアージ・治療・搬送

Triageとは多数の傷病者が発生した災害現場において誰を優先的に治療・搬送すべきなのかを選別すること。

Treatmentは外傷初期診療手順JATECをベースに、とくにプライマリーサーベイ、および生理学的安定に重点を置いている。

Transportの手段として救急車は不足しがちなため、マイクロバス、民間の自動車、あるいはヘリコプターによる空路、船舶による海路など臨機応変に対応する必要がある。